



トイレが新しくなりました

10月の月中旬にトイレの水が止まらなくなることがあり、大家さんに相談したところ、便器本体と新品に交換となりました。そして、なんだかんだで取り付けが完了したのが12月中旬です。

東南アジアの工場で部品がないということで納品まで一ヶ月。

そこから、施工業者が大忙しで予約がとれずにさらに一ヶ月。

急ぎではなかったからよかったです、こんなに時間がかかるとは思っていませんでした。

世の中が変わってきていますね。万物流転です。



頭の重さ。重いほうかいいか。軽いほうかいいか。

小顎矯正や首の施術をするとき、お客様は上向きに寝ていて、私はお客様の頭部側に座って施術をしています。施術中、お客様の頭を両手で持ち上げることがあるのですが、たまに少し驚くことがあります。

自分でイメージした重さよりもお客様の頭が重かったり軽かったりすることがあるんです。

頭の重さは体重の10%程度と言われているので、体重50kgであれば5kgくらい、体重70kgであれば7kgくらいですが、だいたい頭の重さは5~6kgくらいのイメージです。

想像よりも重く感じる頭は、首こりがスゴイときに多いような気がします。頭の重さを重力で感じつつ、首こりの引力もプラスされているのでしょうか？

一方、軽く感じる頭は頭蓋骨の厚みのような気がします。骨太の逆といいますか、骨が薄いというか骨密度との関連があるかもしれません。

どちらにせよ、気軽に言うとお客様の気分を害する怖れがあるので要注意です。



「頭、重いですね」と言えば『顔が重い』っていいたいのかよと思われかねません。

「頭、軽いですね」と言えば『脳みそが空っぽだっていいたいのね』と思われるかも。

結論としては、体重ならぬ頭重に関しては何も言わないほうが波風は立ちません。

でも、親しいお客様には「悪い意味ではないのですが...」と前置きして言ってしまいます...

私はコンタクトレンズをつけているのでサイボーグ（改造人間）？！

スマホの画面を指二本で「自在に伸び縮みさせる技術」はスマートスキンというそうで、その技術を発明した人の著書です。

「妄想する頭 思考する手」 想像を超えるアイデアのつくり方 厲本純一

内容が面白かったのはもちろんですが、「ボディ・ハッキング」（身体改造）なるもの初めて知って興味をそそられました。

「ボディ・ハッキング」とは、体内にマイクロチップやマグネット、電子機器などを埋め込む身体改造のこと。LEDライトを体内に埋め込んだ人がチカチカ光っていたり、コンパスを埋め込んだ人は北が分かったりとパンクな人達といった風情。全身ピアスな人達と似た雰囲気といえばいいのでしょうか。少しイロモノ感あり。

これらは「人間拡張」という分野でもあります。人間拡張とは、テクノロジーで人間の身体能力や知覚等を拡張させること。コンタクトレンズや補聴器など当然のごとく普及していますよね。また、義足やペースメーカーなどもそうですよね。

そして、スウェーデンの鉄道では、乗客の体内に埋め込まれたマイクロチップを乗車券の代わりに利用できる検札システムが2017年から普及しているんですね。知りませんでした。

体内に「Suica」を埋め込んでいるってことですよね。

10年以上前に、ファミリーマートで買い物する際「Tカードお持ちですか？」と聞かれるのが面倒だと友人と話したこと思い出しました。「身体にTカードを埋め込んじゃえば楽になるのにね」なんて話してたのに、現実があっさり飛び越えてたんですね。

身体に埋め込む利点として私がパッと思いついたのは「イカサマ」です。今時は将棋や麻雀の対局番組など色々なものがありますよね。例えば、麻雀対局が生放送だったとして、対局者に遠隔操作で電気を流せるようにしておきます。そして、対局者が当たり牌を振り込みそうになったときに、仲間が「ビビビッ」と知らせることができるのでないかと。実際には、生放送といつても少し遅らせて放送しているようなので無理かもしれません、地下カジノ的などころで大金が動くとなったら、人生大逆転的なことを企てる輩がいるかもしれません。

ボディチェックでどこまで調べればいいのか？という問題も出てくるような気がします。

編集後記 この本では「素人のように発想し、玄人のように実行する」ことを勧めています。同じことを映画監督の黒澤明氏は「悪魔のように細心に！ 天使のように大胆に！」と言っていたようです。さすが巨匠！ 分かりやすい。悪魔は仕事がキル奴というイメージがありますよね。ぬかりない感じ。一方、天使ちゃんはやらかし系のような... 【大泉】

